

かきわぎ

vol.

52

CONTENTS

新年挨拶.....	2
救急・災害医学分野主任教授 就任挨拶.....	3
呼吸器内科学分野主任教授 就任挨拶.....	3
夜間・休日診療体制変更のお知らせ.....	4
ふたり主治医制について.....	4
医療機関を対象とした研究会のお知らせ.....	4

東京医科大学病院の理念と基本方針

理 念

人間愛に基づいて、患者さんとともに歩む良質な医療を実践します。

基本方針

本学の校是である“正義・友愛・奉仕”を実践します。

1. 患者さんと信頼関係を築き、安心して開かれた医療を提供します。
2. 地域医療機関と連携して良質で高度な医療を提供します。
3. 人間性豊かで人類の福祉と幸せの実現に貢献できる医療人を育成します。



新年挨拶



東京医科大学病院 病院長

つちだ あきひこ
土田 明彦

新年を迎え、皆様にはお元気でご活躍のことと存じます。東京医科大学創立 100 周年記念事業の一環として、2016 年より着工した新大学病院建設工事も順調に進捗しており、来年（2019 年）3 月竣工、7 月に新規オープンの予定です。もうしばらくご迷惑・ご不便をおかけするかと存じますが、何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

さて、昨年は 7 月に、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（機能種別版評価項目 3rdG ; Ver.1.1）を受審し、11 月 10 日付けで認定基準に達成していることを示す認定証の交付を受けました。今後は更に認定病院として地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる質の高い医療サービスを提供すべく、職員一同努力してまいります。

ご紹介いただきました患者さん一人一人を大切に診療することにより、患者さんから選ばれる病院にしていきたいと思いますので、引き続き、先生方のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



東京医科大学病院 副院長
総合相談・支援センター長

はにゅう はるお
羽生 春夫

新年を迎え、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。新病院棟の建設も 2019 年 7 月 1 日の開院を目指して、現在急ピッチで作業が進められております。

一昨年から、地域の医療機関と協力し合い相互の機能を有効に利用することによって、患者さんに一貫性のある良質な医療を提供すべく「医療連携医登録制度」を開始いたしました。現在 800 名を超える先生方にご参加いただき、病診連携、病病連携を深め、大学病院としての役割、責任を果たし、効率的な紹介、逆紹介をさらに高められるよう努力しております。本年もこれまで以上のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、1 月 9 日より従来の当直体制を一部変更し、夜間・休日診療に関しては緊急性の高い二次救急医療（救急外来）と三次救命救急医療（救命救急センター）の診療となります。総合的な時間外診療に対しては内科当直チーム、外科当直チームが対応することとなりますので、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

救急・災害医学分野 主任教授



おだ じゅん
織田 順

平成 29 年 11 月 1 日付けで、東京医科大学 救急・災害医学分野主任教授に就任いたしました。

救急需要は年々増加し、急性期を担う医療機関における救急部門に期待される役割はさらに高まってきていると心得ております。東京医科大学病院 救命救急センターでは主に東京消防庁により救命対応判断された事案を積極的に受け入れており、重篤患者の応需実績は都内 26 の救命救急センターにおいても常に上位となっております。当科ではショック、多発外傷、多臓器不全、心肺停止例、中毒、熱傷などの重症例に対して常に対応できる体制を整え、また外傷外科、救急外科、外科的集中治療を柱とする Acute Care Surgery や災害対応にも力を入れております。高齢化が進む中、地域で連携して診療を進め、患者さんの超急性期には当センターが役割を果たし、その後は地域にお返しするといった事例がますます増加するものと推察されます。

今後も教室員一同、病診連携、地域の医療安全における責任を果たし社会ニーズに合わせた救命救急診療を進めるべく精一杯つとめる所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

呼吸器内科学分野 主任教授 (呼吸器内科 診療科長)



あべ しんじ
阿部 信二

この度、平成 30 年 1 月 1 日付けで呼吸器内科学分野主任教授を拝命致しました。これまで日本医科大学において故仁井谷久暢先生、工藤翔二先生、弦間昭彦先生の三代の教授のもと呼吸器病学および臨床腫瘍学の研鑽を積んできました。平成 23 年以降は都内の基幹病院である東京臨海病院、東京都立広尾病院で部長を務め、急性呼吸不全から緩和医療まで幅広い呼吸器診療を提供してきました。また患者さんの紹介・逆紹介や勉強会などを通じて地域の先生方との連携と親交を深めてまいりました。呼吸器疾患は悪性腫瘍、呼吸器感染症、間質性肺炎、COPD・気管支喘息、さらには睡眠障害など増加の一途にあり、あらゆる疾患に対して迅速に対応できる診療体制を目指しております。これまでの一般病院での経験も生かして、診断や治療に難渋する症例については先生方とともに考え、連絡を密に取りながら良質な医療を提供できるよう努力していく所存です。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

専門分野

●間質性肺疾患をはじめとするびまん性肺疾患 ●呼吸不全

夜間・休日診療体制変更のお知らせ

このたび、新宿労働基準監督署より医師の労働時間に関する指導があり、医師の当直体制を変更することとなりました。

従来、夜間・休日等の診療時間外におきましては、各診療科の当直医が院内に常駐する体制をとっておりましたが、今後は専門科の異なる医師同士による総合的な診療チーム（内科、外科、小児、救急など）を編成し院内に常駐させることといたしました。これに伴って、このチーム以外の診療科はオンコール体制に移行いたしますので、従来と比べご不便をおかけすることもあるかと存じますが、当院の事情、医師の働き方改革の観点等をご賢察いただき、ご理解の程よろしくお願いいたします。

● 新しい夜間・休日診療体制の変更日

平成 30 年 1 月 9 日(火) 17 時より開始します。

※新しい体制により、夜間・休日の診療体制は、緊急度の高い二次救急医療【救急外来】と三次救命救急医療【救命救急センター】の診療受入れとなります。

夜間・休日帯に患者受入れのご依頼をされる際には、事前に電話（代表：03-3342-6111）でのご紹介いただいた後に、緊急度により東京消防庁への患者救急搬送指示等でご来院いただくようお願いします。

ふたり主治医制について

当院では「ふたり主治医制」を積極的に推進し、「かかりつけ医」と「大学病院」が協力し合って、質の高い医療を提供していきたいと考えております。

患者さんの病態の把握と長期処方による副作用の早期発見と防止のために、病状が安定し、長期投薬が可能な方については、「かかりつけ医」の先生に紹介させていただき、当院の医師が「ふたり主治医」として連携しながら患者さんの治療にあたります。

高度急性期病院としての役割を担うため、先生方と一層の連携を図ってまいりたいと存じます。これからもご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



医療機関を対象とした研究会のお知らせ

第 46 回 新都心医療連携懇話会

- 日時 平成 30 年 3 月 8 日(木) 19:00～
- 場所 東京医科大学病院 本館 6 階 臨床講堂
- テーマ 「(仮) 脳卒中センターの活動について」

第 15 回 在宅認知症患者対策ケアネットワーク

- 日時 平成 30 年 3 月 17 日(土) 14:00～16:00
- 場所 東京医科大学病院 教育研究棟 3 階 大教室
- テーマ 「支援に繋がっていない認知症患者への対応
～認知症初期集中支援チームの現状～」